

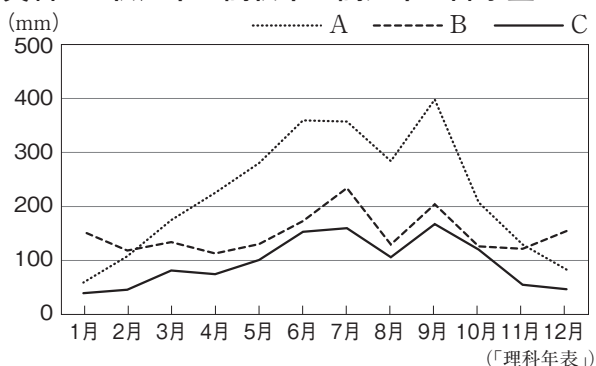
1 日本の国土



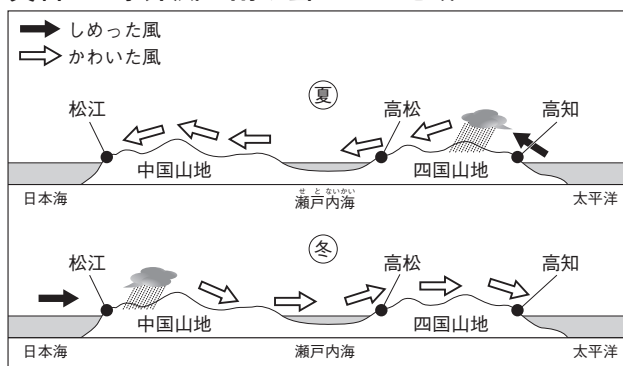
はじめに考えてみよう

例題 南北に細長い日本列島は、地域ごとに、気温や降水量といった気候のちがいが見られます。日本の気候に大きな違いをあたえているのは季節風で、季節風によって降水量の多いところや少ないところ、降水量が多い時期や少ない時期に分かれます。次の資料1は、島根県松江市、香川県高松市、高知県高知市のいずれかの降水量を示しています。また、資料2は、季節風によってどのように雨や雪がふるのかを説明した図です。高松市の降水量を示しているグラフは、資料1中のA～Cのうちどれですか。資料2から読み取れることについて、判断した理由を明らかにして答えなさい。

資料1 松江市・高松市・高知市の降水量



資料2 季節風と雨や雪がふる地域



考え方 資料がいくつかある問題では、資料1つ1つからどのようなことがわかるか、順番に整理していきましょう。

まず資料1から、A～Cの都市の降水量の特色を読み取りましょう。①〔 〕は、ほかの2つの都市と比べて、冬の降水量が多いという特色があります。②〔 〕は、夏の降水量がとても多いです。③〔 〕は、ほかの2つの都市と比べて、いずれの月も降水量が少なくなっています。

次に資料2から、雨や雪は、季節風の④〔 〕風が山地にぶつかる場所でふることがわかります。そのため高知市は、〔④〕季節風が四国山地にぶつかる⑤〔 〕に雨が多くふり、松江市は、〔④〕季節風が中国山地にぶつかる⑥〔 〕に雪が多くふります。そして高松市は、夏も冬も、山地にぶつかった季節風が⑦〔 〕風となってふきこむため、1年を通して降水量は⑧〔 〕と考えられます。

問題文は、高松市にあてはまるグラフをきいています。先ほどの資料2の読み取りから、高松市は、1年を通して降水量が〔⑧〕グラフがあてはまります。また、グラフを選んだ理由も書くように求められているため、資料2で読み取った内容を書きます。

例題の答え

⑨〔 〕

1 日本の国土

つとむ：いや、冬の気温を見て。札幌は北海道の気候で冬の寒さがきびしいから、それは札幌のグラフだよ。こっちが松本だ。

ゆきや：あ、そうか。じゃあ、④これで完成！

(1) 文中の と にあてはまる内容を、①は「降水量」、②は「気温」のことはを使って、それぞれ簡単に答えなさい。

- ①)
- ②)

(2) 下線部③について、松本と札幌に共通する気候の特色を、「緯度」と「標高」のことはを使って、簡単に答えなさい。

)

(3) 下線部④について、左からグラフの順番に合わせて都市名を正しくならべたものを、次から選び、記号で答えなさい。

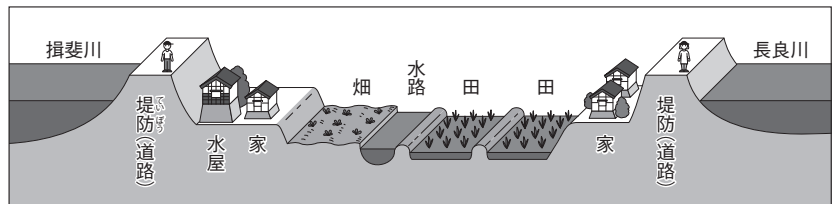
- ア 福井→札幌→那覇→松本 イ 福井→松本→札幌→那覇
- ウ 福井→那覇→松本→札幌 エ 福井→松本→那覇→札幌)

3 次の図1と図2，グラフを見て，あとの問いに答えなさい。

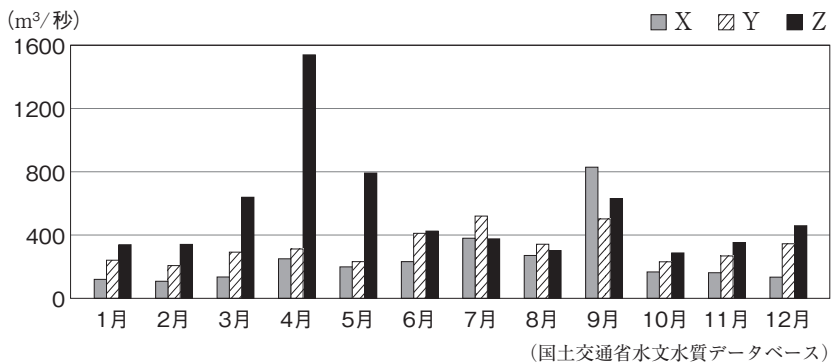
図1 おもな河川



図2 木曾川・長良川・揖斐川の下流域で見られる土地利用



グラフ おもな河川の2015年における月別流量



(1) 図1中の木曾川・長良川・揖斐川の下流域で、家や水屋はどのような位置に建てられていますか。

図2を参考に、その理由もふくめて、簡単に答えなさい。

)

(2) グラフ中のX～Zは、それぞれ利根川・信濃川・四万十川を示しています。利根川・信濃川・四万十川の位置を、図1中のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

利根川) 信濃川) 四万十川)

(3) グラフ中のX～Zのうち、信濃川があてはまるものを選び、記号で答えなさい。また、そう判断した理由を、信濃川が流れる地域の気候と結び付けて、簡単に答えなさい。

記号)

理由)

1 日本の国土

資料2 おもな国の国土面積・領海と排他的経済水域の面積・海岸線の長さ

	国土面積	領海と排他的経済水域の面積	海岸線の長さ
アメリカ合衆国	983万 km ²	762万 km ²	19924 km
カナダ	998万 km ²	470万 km ²	202080 km
日本	38万 km ²	447万 km ²	29751 km
ニュージーランド	27万 km ²	483万 km ²	15134 km

(国土技術研究センターホームページ)

資料3 日本の大きな島



資料4 各島の面積

北海道	77984 km ²
本州	227938 km ²
四国	18297 km ²
九州	36782 km ²

資料5 都道府県の面積

北海道	78421 km ² (83424 km ²)
青森県	9646 km ²
沖縄県	2283 km ²

資料6 北海道の島の面積

歯舞群島	95 km ²
色丹島	251 km ²
国後島	1490 km ²
択捉島	3168 km ²
計	5003 km ²

(四捨五入により各島の合計は一致しない)

(資料4, 資料5は2022/23年版「日本国勢図会」, 資料6は北海道標津町ホームページ)

(2) にあてはまる内容を、簡単に答えなさい。

{ }

(3) 下線部Cについて、次の問いに答えなさい。

① 資料1と資料2を正しく読み取っているものを、次からすべて選び、記号で答えなさい。

ア 海岸線の長さが最も短い国と、2番目に短い国は、同じ大陸にある。

イ 国土面積が最も大きい国と、2番目に大きい国は、赤道より北に位置している。

ウ 海岸線の長さが最も長い国は、領海と排他的経済水域の面積は2番目に小さい。

エ 領海と排他的経済水域の面積が最も小さい国は、国土面積も最も小さい。

{ }

② 国土面積よりも領海と排他的経済水域の面積が大きい国には、どのような共通点があることがわかりますか。資料1と資料2を参考にして、簡単に答えなさい。

{ }

(4) にあてはまる内容を、簡単に答えなさい。

{ }

(5) について、あかねさんは新たに資料6を用意しておるさんに説明しました。資料6を参考にして、 にあてはまる内容を、「不法」のこたばを使って答えなさい。

{ }

2 次の会話文と資料を見て、あとの問いに答えなさい。

そうたくん：うちで育てている大根が、もう少しで収穫できそうなんだ。

たいちくん：自分で育てると興味がわくよね。ぼくもイチゴを育てたとき、栃木県産や福岡県産のイチゴが多いことに気付いて調べたことがあるよ。

そうたくん：ぼくも大根について調べてみたら、特に多くつくられているのは、北海道、青森県、千葉県、鹿児島県だとわかったんだ。それから、資料1を見つけたよ。

たいちくん：資料1を見ると、A 北海道や青森県と、千葉県や鹿児島県では、東京に出荷する時期がちがうことがわかるね。大根がよく育つ条件があるのかもしれないね。そうたくんは自分で大根を育てているから、わかることがあるんじゃない？

そうたくん：大根の育て方を資料2にまとめたよ。あと、植物には日当たりも大事かなと思って、資料3を持ってきたよ。太陽が当たる時間を日照時間というんだって。

たいちくん：資料2を見ると、大根の生育期は 気候がむいてるんだね。資料3を見ると、北海道や青森県は千葉県や鹿児島県に比べて、7月・8月の から、夏でも 気候になって、大根をつくることができるんだろうな。

そうたくん：うん。…あ！資料3にインクをこぼしちゃったよ。どっちが鹿児島県でどっちが千葉県だったっけ…。

たいちくん：う～ん…この2つは日照時間の変化がよく似てるね。クイズみたいで面白いな。

そうたくん：鹿児島県と千葉県の日照時間を調べ直せば、どっちがどっかわかるかな。

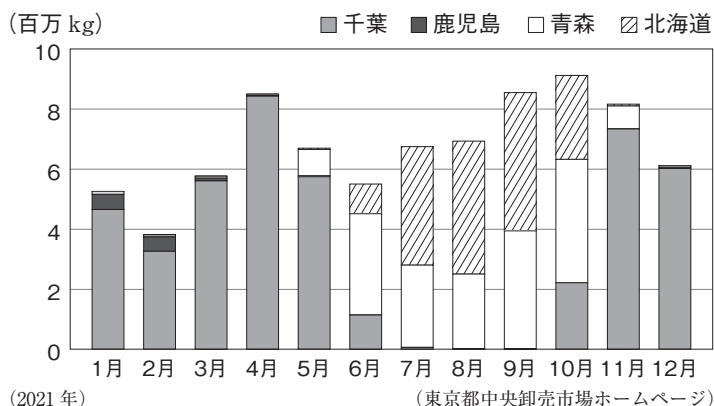
たいちくん：じゃあ、ぼくは別の資料を使って判断してみるよ。明日、答え合わせをしよう。

：

たいちくん：資料から、 鹿児島県だよ。

そうたくん：すごい！ 正解だよ。

資料1 大根の生産量上位4道県の東京への出荷量



資料2 大根の育て方

○適した気温
発芽…15～30℃ 生育…15～20℃

○大根の種類と季節ごとの種まきと収穫
春だいこん…10月ごろから種まき、3月から4月に収穫
夏だいこん…3月ごろから種まき、6月から8月に収穫
秋・冬だいこん…8月ごろから種まき、11月から3月に収穫

(日本政策金融公庫ホームページ)

資料3 大根づくりがさかな地域の日照時間 (時間)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	33.1	45.3	89.6	149.5	178.1	157.3	130.8	127.3	141.9	121.5	59.6	25.8
青森県	119.0	124.0	170.5	187.2	192.6	157.7	137.2	149.7	145.6	153.0	126.4	109.1
千葉県	179.8	159.0	168.9	183.0	188.9	142.3	174.0	221.3	159.0	137.9	140.1	163.7
鹿児島県	170.7	158.2	178.2	186.0	183.1	109.5	198.6	224.5	174.7	181.6	165.1	168.7

(気象庁ホームページ)

1 日本の国土

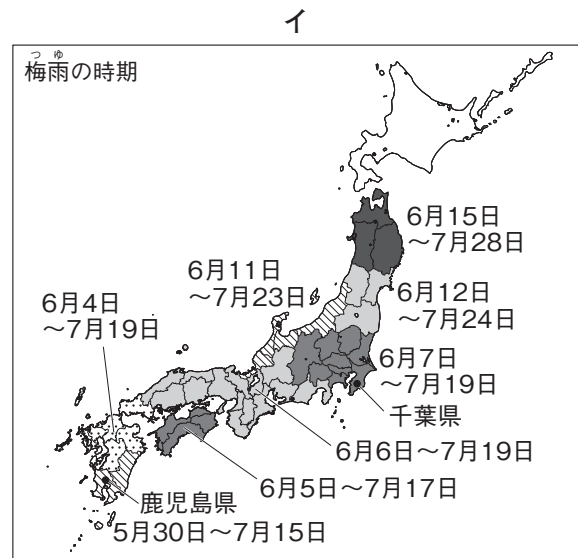
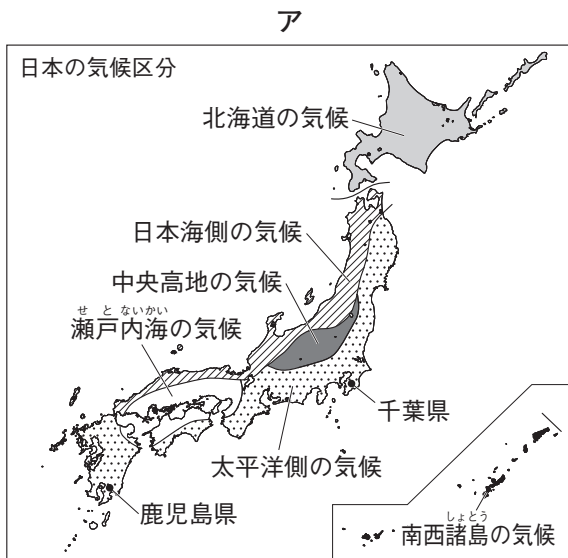
(1) 下線部 A について、資料 1 と資料 2 を見て、北海道や青森県と、千葉県や鹿児島県の大根の種類のちがいを、資料 2 中のことばを使って答えなさい。

[]

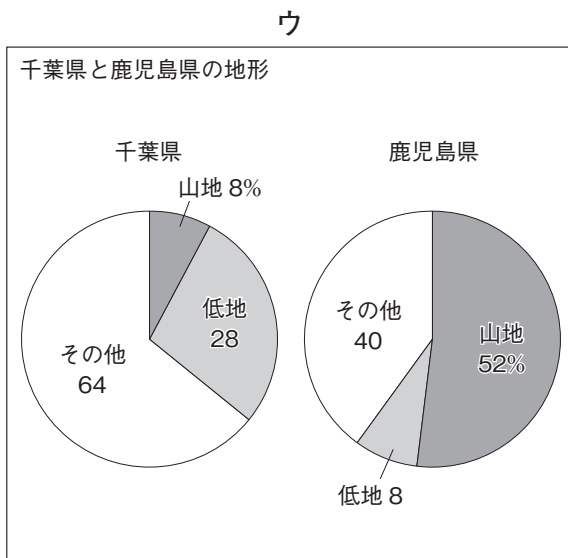
(2) に共通してあてはまる内容と、 にあてはまる内容をそれぞれ答えなさい。

B [] C []

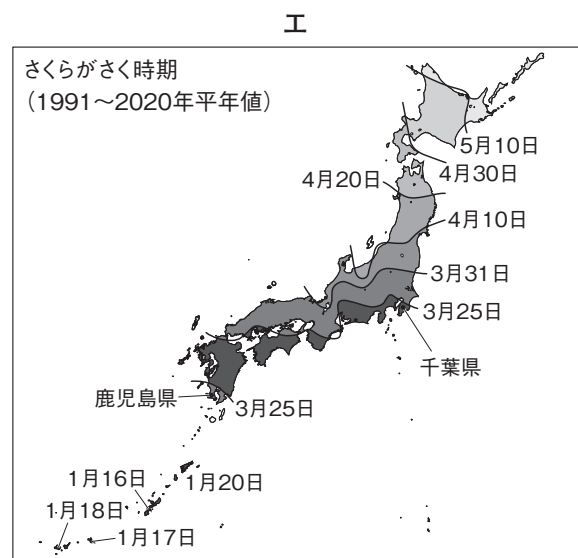
(3) について、たいちくんは資料 3 のいちばん下が鹿児島県と判断しました。たいちくんはどのような説明をしたのでしょうか。次の資料のいずれかを使って、資料から読み取れることをもとに、 にあてはまる内容を簡単に答えなさい。



(気象庁ホームページ)



(2023年版「データでみる県勢」)



(気象庁ホームページ)

使う資料 []

説明 []

8

総合問題 1



1 双子のめぐみさんとふみやさんは、夏休みの家族旅行について話しています。2人の会話文と資料を見て、あとの問いに答えなさい。

ふみやさん：もう少ししたら沖縄に旅行だね！ 楽しみだな～。

めぐみさん：そうだね。お母さんは北海道でもいいなって話していたけど、ふみやはどっちがよかった？

ふみやさん：ぼくは前から沖縄に行きたかったから、沖縄に決まってよかったよ！ A 北海道に行くなら、雪まつりを見に行きたいから冬の時期がいいな。

めぐみさん：それもそうだね。

ふみやさん：3泊4日か～、ぼくは1週間くらい行きたかったんだけどな～。

めぐみさん：たしかに。沖縄に行くのは初めてだから、もう少し泊まりたいよね。

ふみやさん：めぐみは沖縄に着いたらどこに行きたい？

めぐみさん：B 沖縄県の伝統的な家を見に行きたいかな。

ふみやさん：屋根などにシーサーがのっているような家だよな。

めぐみさん：そうそう。教科書にのっている沖縄の家って東京では見られないから、なんだか外国の家みたいを感じるんだよね。わたし、外国の家とか建物とかを見るのが好きだから、楽しみなんだ。

ふみやさん：へ～、そんなふうにしたことなかったな。

めぐみさん：ふみやはどこに行きたいの？

ふみやさん：ぼくはさとうきび畑とパイナップル畑を見に行きたいな。

めぐみさん：ふみやは食べ物に興味があるんだね。

ふみやさん：前に学校の授業で沖縄の農業について学んだときに、ぼくたちの住んでいる地域とはつくられている農作物や C 農業の取り組みがちがっておもしろいなって思ったんだ。

めぐみさん：なるほどね。沖縄県でしか見れない景色が見られるかもしれないから、楽しみだね！

⋮

ふみやさん：今まで家族旅行は日本国内ばかりだったよね。外国にも行ってみたいな～。

めぐみさん：そうだね。ふみやはどの国に行ってみたい？

ふみやさん：うーん、そもそも世界にはどんな国があるんだろう？

めぐみさん：インターネットで調べてみようか。

⋮

めぐみさん：世界の国を調べていたら、国旗もたくさん出てくるね。

ふみやさん：D 国旗のデザインには、国によってさまざまな意味があるんだよ。

めぐみさん：へ～、そうなんだ。どんな意味があるのか調べてみようかな。

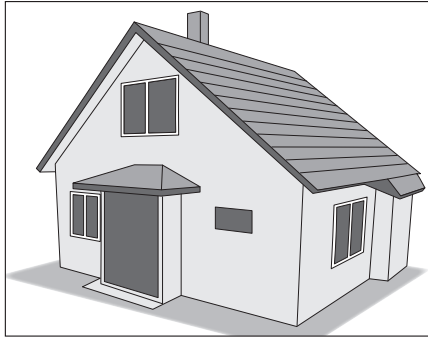
ふみやさん：いいと思うよ。せっかくだから自主学習ノートにまとめて先生に提出してみたらどうかな？

めぐみさん：それがいいね！

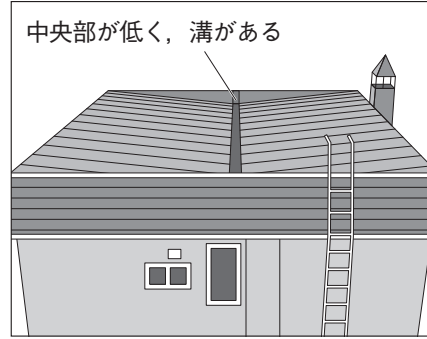
8 総合問題 1

(1) 下線部 A に関して、雪の多い北海道の家の屋根は、近年、資料 1 のような形から資料 2 のような形に変わっています。資料 2 のような形の屋根のよい点を、中央に溝がある点もふまえて、簡単に答えなさい。

資料 1



資料 2



{

(2) 下線部 B について、次の問いに答えなさい。

① ふみやさんとめぐみさんは、沖縄県の伝統的な家のつくりを調べたあと、現在の沖縄県の家のつくりも調べてみました。資料 3 中の (a)、(b) には伝統的な家と現在の家に共通する役割があてはまります。あてはまる内容を、簡単に答えなさい。

- (a) { }
- (b) { }

② 資料 3 のように、今の沖縄県の家には水を貯める給水タンクが設置されていることがあります。その理由を、資料 4 から読み取れることをふまえて、「海」のこぼれを使って、「沖縄県はたくさんの雨がふるが、」の書き出しに続けて簡単に答えなさい。

資料 3 沖縄県の昔と今の家

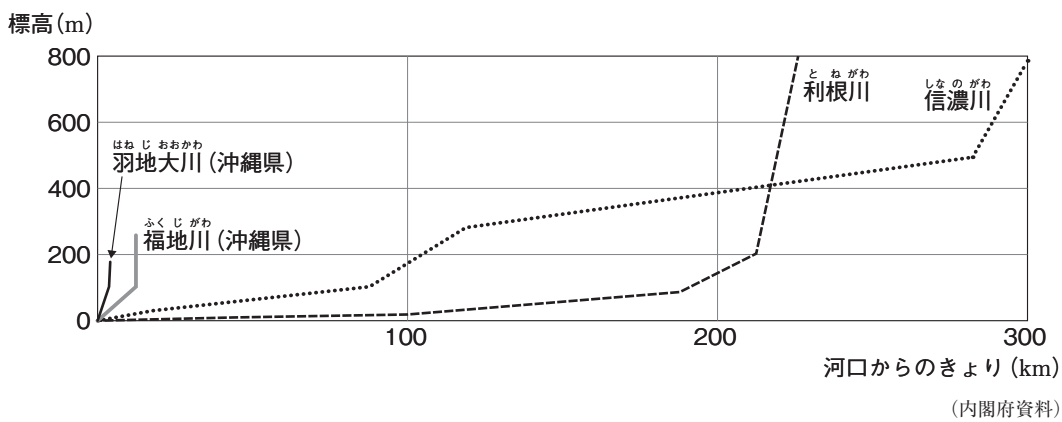
(昔) 伝統的な家

- 家のまわりに植えられたふくぎ: (a)
- 低い屋根: (a)
- 風通しのよい広い戸口: (b)
- 家のまわりの石がき: (a)

(今) コンクリートづくりの家

- 給水タンク
- 平らな屋根: (a)
- コンクリートづくり: (a)
- 白いかべ: (b)

資料 4 本州の川と沖縄県の川の比較



{ 沖縄県はたくさんの雨がふるが、 }

